

## <生徒保健委員会の取り組みから>

### ●身の回りにある危険な場所の確認をしました。

能登半島地震で被害を受けた校舎周辺の地面や通学路。保健委員会では、危険な場所を調べ、生徒からみたマップとポスター作成しました。

保健委員長「希望の広場前に掲示してあります。危険な地面や道路、その他気になる箇所に対し、注意して通学してください。」

通学路に亀裂があります。前をよく見て通りましょう。



校舎内の壁にヒビがあります。



校舎前に臨時通路ができました。気をつけて渡りましょう。



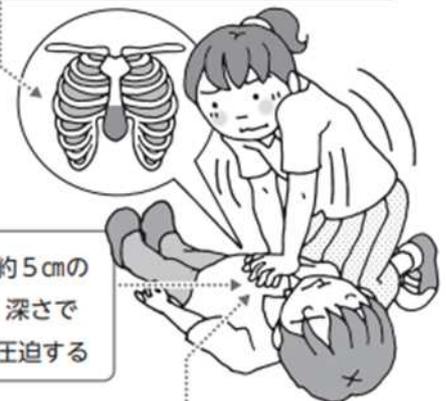
### ●模型を使って胸骨圧迫をやってみました。

親しい人が目の前で倒れたらなにができるかな？その瞬間に適切な手当ができるかどうかで、その人の命が救えるかどうかが決まってしまう。保健委員会では、模型を使って胸骨圧迫をやってみました。

### 胸骨圧迫の方法

胸骨圧迫は、止まった心臓の代わりに脳と心臓に血液を送る唯一の方法です。

胸骨の下半分を手の根本で強く押す



真上から100~120回/分の速さで力強く！



「強く」「早く」「絶え間なく」

※『救命ドリル スクーマン』を使って保健室で練習ができます。



協力者がいる場合に挑戦！1~2分ごとに交代して行いました。